

じそんのかね

自尊の鐘



藤崎西中学校 学校だより
2020.7.2 NO6
発行責任者 校長 秋澤英俊

「人を敬い、いっくしみ、自らをたつとび高める」、校訓『敬愛自尊』のもとに、毎朝鳴らされる「自尊の鐘」。今日をどのように過ごし自分を高めていくのか、鐘の音を聴きながら「理想をめざし日に進む」(校歌)、生徒たちの成長の姿をお知らせします。

ドラマを振り返ろう!

メッセージに腹を立てる! -SNSの使い方



僕はスマホを持っていないが、持ったときはこういうことに気をつけてやろうかなと思いました。メッセージでやりとりするのは、その人の感情や思いがわからないから怖いと思った。

人間なのだから、文字だけで表すのではなく、自分の感情がどうしたら伝わるかななどを学んでSNSなどを利用すべきだと思います。自分で気づいていないだけで、相手が傷ついたり、最悪の場合亡くなったりするとか、今の時代当たり前のようになっていることが恐ろしいと思った。簡単そうで簡単ではないことがインターネットだから気をつけたい。

ラインとかは僕も使うし、早く返事を返したかったから、「ぱっぱ」と打ってちゃんと見ないでやっていたけど、DVDを見てこんなことが起きているのかと感じて、心から気をつけようと思いました。



SNSはメッセージの会話の時に、自分の気持ちが違う形でとらえられてしまう可能性がある一方で、お互いに誤解を招かないように相手の気持ちを考えていきたいです。もし自分が傷つく内容のものであれば、無視したりするのではなく話したりして自分で解決できるものは解決していきたいです。もし本当に困ったら、身近な大人に頼りたいです。

今回の授業では、ネットには利点と欠点があることを改めて学びました。メールにはひとつの言葉が抜けていたり、間違いがあっただけで大きな事件や事故につながる可能性があります。それを防ぐためには言葉ひとつひとつに目を通して、「こう送ったらこうなる」という予想を立てれば、相手にもうまく伝わるのかと思いました。僕もあと2年で自分の携帯を持つので、そこら辺は気をつけて使おうと思います。



6月29日(月)の6校時に「サイバー犯罪防止」の授業を行った時の生徒の感想の一部です。例年だと講師をお呼びし学習するのですが、今年はSNSでのコミュニケーションにおいて、気をつけるべきことはなにか、DVDを視聴し、その事例を通して各クラスで、みんなで考え学びました。文字だけのコミュニケーションの良い面と危険性、トラブルになったときの解決方法等、どのクラスでも生徒たちは自分のこととして、真剣に考え、意見交流をしていました。どのようなコミュニケーションツールでも、相手を尊重し受け手の気持ちを考えてこちらの気持ちを伝えられるように努力することが基本だと思います。今回の授業で、登場人物の気持ちを理解しみんなできいろいろ考えたこと、そのこと自体が、豊かなコミュニケーションを身につける上で、受け手の気持ちを考えるよい経験になったと思います。ご家庭でもぜひ話題にしてみてください。

ご家庭でもぜひ話題にしてみてください。